

パパトーク

8年前にアンケートを実施した時と比べると、子育てに対してパパの意識は上がっていますが…、パパとママの思いに少し“差”があることがわかりました。

では、その「差」というのはどういうこと!? について、子育て真っ最中のパパの皆さんに語っていただきました (^v^)

「パパになる意識」 ～意識したのはどんな時?～

迫田: 上の子が生まれた時にとても感じました。また、2人目が産まれた時は、こちらへ表情を向けてくれた時に改めて父親になったと実感しました。初めは下の子を抱っこしていると上の子がやきもちを妬いていましたが、段々と理解してくれるようになり子育てが楽しくなってきました。

宇佐美: 元々小さい子の相手は得意ではなかったのですが、子どもに声をかけて反応があったり、関われるようになると嬉しくなりました。



子どもと接するようになり、関わりに対する気持ちの変化がありましたね。

伊藤: 父親としての実感は、正直初めはあまりなかったし、想像できなかったです。自分の父親も子育てをそこまでしていなかったの、子どもとは仲の良い友達感覚で過ごせられたらなど。父親のモデルがあまりないので楽しく過ごしたいと思っています。

司会: パパも子どもの成長に合わせて一緒に成長していく感じですね。

「子どもが生まれる瞬間」 ～出産に立ち会いましたか?～

宇佐美: しました。もうすぐ第2子が産まれる予定です。その時も立ち会いたらしたいと思います。

伊藤: ママが実家での出産だったため、立ち会い出産はできませんでした。場所が九州だったので陣痛



の連絡が来た時に急いで飛行機に乗りましたが、飛んでいる最中に産まれてしまいました…。

司会: うちも運良く2人とも立ち会いできました。下の子が産まれる前にお腹に‘この日だよ’と呼び掛けていたら本当にその日の夜中に陣痛が起きてそのまま産まれました (笑)

「ママとのコミュニケーション」 ～子育ての話はしていますか?～

迫田: 子育てについて話す機会はそこまで多くなくて、子どもが何かを出来るようになったこと等を5分、10分程度話す程度かなと思います。また、自分と話す以外に、ママはずっと四日市にいたため、ママ友と話す機会もあつたようで心配はなかったです。

宇佐美: うちママがよく話すタイプなので聴くようにしています。聴

いてあげることでママも安心したり、すっきりしているので、こちらから話しかけることなく、何かあつたらまた聴けばいいかなと思っています。お互いに無理なく自然に会話できているんじゃないかと感じています。

伊藤: うちの夫婦は会社と一緒になので、ママが自分以外に話せる相手は会社の人になっているようです。その為、子育ての会話は自分と話すのが中心かと思います。

司会: ママの話をしっかり聴くスタンスはとても大事ですね。

「大切なのはお互いの納得」 ～役割分担はどうしていますか?～



伊藤: 実際育児に対しての割合は、時短勤務をしているママの方が主となっています。そのことで世間もそうですが、ママが主・パパがお手伝いになっているかと思います。子育てをすることにパパ・ママのやることをイーブンに持っていく

ことが理想とは思いません。一度「ママが働きたい気持ちになったら自分が仕事辞めるよ」と話したことがあります。同じ会社内での結婚の為、給料が下がることなく、あまり負担がないのも大きいです。



迫田：個人的に伊藤さんのような役割を分担することがすごく理想で素敵だと思います。夫婦もそれぞれ考えがあるのでお互いに納得して生活できればそれがいいかと思います。

司会：素敵ですね。また共働きの大変さもありますが、強みも感じます。だからこそ、夫婦でよく相談できる環境が必要になってくるんでしょうね。

「子育てに対する社会の理解」 ～育児休暇ってどう思いますか？～

迫田：下の子が生まれた時に育児を1か月取りましたが、上の子と関わるが多かったです。ママが下

の子との時間を取ることができたので、分担は我が家としてはすごくよかったと思います。

伊藤：うちは取りましたが、復帰してから会社の雰囲気はとてもよかったです。とても安心しました。

宇佐美：4月の異動時期は難しいですが、取る権利はあるのでママから取ってほしいと言われたら取りたいと思っています。

司会：会社では育児が取れる雰囲気になっていきますか？

宇佐美：会社でも取れるようになってきました。同じ部署の人が重なると遠慮して取れなくなることもありませんが、いつでも取れる権利が保障されることは大切だと感じます。

辻：うちは取りませんでした。自分は平日休みが多い為、幼稚園の送迎等を行うようにしてママの負担



を軽減できるようにしています。あと、子どもがママに叱られたときになだめる役目もしています。子どもに考えてほしいため、どうして叱られたかを一緒になって考えるようにしています。

「自分たちらしい子育て」 ～大切にしたいこと～



最後は
パパトーク記念として、
パパと子の手形スタンプを
皆さんと
楽しみました☆

司会：皆さんと話していて育児を取るにしても、子育てをするにしても夫婦で会話をして決めることが大切なことがよく分かりました。理想のパパは家庭によって違いますが、子育てについてどうしていくのか夫婦でよく話すことがほんとに大切です。あとは、子育てに対してそれぞれのペースで「子育てって楽しいやん」と思うくらい、パパもママも無理なく、気楽に子育てができればなと思いました。

本日は色々話することができて楽しかったです。ありがとうございました。



パパトーク出席者（敬称略・五十音順）

伊藤：子どもと一緒に楽しむ1児のパパ。
宇佐美：ママとの会話を大切に2児のパパ。
迫田：子ども目線で優しい語り口調の2児のパパ。
辻：子育てに前向き・勉強熱心な1児のパパ。
小島：司会。本業は保育士。2児のパパ。

